

サポートセンターオープンから1年 仲間の輪が少しずつ広がっています

サポートセンターがオープンして1年が経ちましたが、その間利用登録団体の数は30を超えました。

サポートセンターでは、そうした団体間の情報交換とネットワークづくりを目的に、今年2月に登録団体交流会を実施したところ、まちづくりについての様々な意見やアイデアが出され、とても有意義な会になりました。



その時の意見なども反映し、サポートセンターが実施するイベントは、できるだけ登録団体等の皆さんにも参加していただく実行委員会形式をとることにしました。その最初の取り組みが、5月14日に行われた「いなぎ市民活動フェスティバル2006」でしたが、参加団体の皆さんのご協力でとてもいい催しにすることができました。



このように、徐々にではありますが、市民活動の仲間の輪が広がってきています。

サポートセンターでは、さらに多くの団体の参加をお待ちしています。

●登録団体とは

サポートセンターには、ボランティアやNPOが市民活動を行う上で必要となる印刷機（A3版まで可能）など、様々な機器を用意しています。

また、15人程度まで利用できるテーブル（ミーティングコーナー）もあります。

このうち、印刷機、ミーティングコーナー、レターケースを利用するためには、事前に利用団体（グループ）として登録をしておく必要があります。

登録は原則として団体単位ですが、これから市民活動団体を立ち上げたいと思っている方の場合、個人でも登録することができます。

また登録しておく、「登録団体交流会」が定期的に行われますので、団体間のネットワークづくりにとても役立ちます。ぜひご登録ください。

登録団体一覧

（5月末現在）

- ・稲城生涯うでっこきの会（子どもの健全育成）
- ・国際チャリティ協会アムリタハート（国際協力）
- ・ガールスカウト東京都第136団（子どもの健全育成）
- ・稲城青年会議所（まちづくり）
- ・支えあう会みのり（保健・医療・福祉）
- ・ふれあい広場ポーポーの木（福祉・まちづくり）
- ・クラフトボランティアJOY（社会教育・文化・芸術）
- ・稲城市赤十字奉仕団（福祉）
- ・いなぎ里山グリーンワーク（環境保全・まちづくり）
- ・いとでんわの会（保健・医療・福祉）
- ・いなぎFFネットワーク（子どもの健全育成）
- ・稲城国際交流の会（国際協力）
- ・メンタルケアサービスセンター「暖」（保健・医療・福祉）
- ・こぐまねつと（子どもの健全育成）
- ・稲城おもちゃの病院トトロ（子どもの健全育成）
- ・稲城ケンナフまちづくりの会（社会教育・まちづくり）
- ・セーフティ・稲城・フォー・フリー・フィルド（地域安全・子どもの健全育成）
- ・Forza 稲城（まちづくり）
- ・稲城市身体障害者福祉協会（保健・医療・福祉）
- ・全日本年金者組合多摩稲城支部（保健・医療・福祉）
- ・日良好の会（子どもの健全育成）
- ・ぐるんぼのえほん隊（子どもの健全育成）
- ・青少年育成向陽台地区委員会（子どもの健全育成）
- ・発見工房クワイエット 科学対話グループ（社会教育）
- ・稲城知的障がい者支援ネットワーク（ICN）（保健・医療・福祉）
- ・フォトクラブ いなぎ（文化・芸術・スポーツ）
- ・稲城市手をつなぐ親の会（保健・医療・福祉）
- ・NPO《子どもの森》芸術文化振興基金（文化・芸術・スポーツ）
- ・いなぎおはなしの会（子どもの健全育成）
- ・友遊クラブ（保健・医療・福祉）
- ・新日本婦人の会稲城支部（団体の支援）
- ・サークル歩知歩知（文化・芸術・スポーツ）

※カッコ内は主な活動分野です。さらに詳細を知りたい方は、サポートセンターにお問い合わせください。

市民活動サポートセンターオープン1周年記念行事・・・・・・・・・・・・・・・・

「いなぎ市民活動フェスティバル2006」報告

5月14日に、当サポートセンターの1周年記念行事として、「いなぎ市民活動フェスティバル2006」が開催されました。

午前の第1部では、NPOサポートセンター理事長の山岸秀雄さんに「市民活動が地域を変える」と題した講演をしていただきました。山岸さんは早くからNPOの制度や仕組み作りに取り組んできた方で、NPO法の法案作りにも深く関わった、日本のNPOの第一人者です。

午後の第2部では、話題別グループに分かれて、下記のような話し合いが行われました。

第3部の交流会では、参加者が自由に好きな話題や共通のテーマなどで和やかに交流を深めることができました。

参加団体(者)の皆さんご協力ありがとうございました。

(川本)



▲NPOの第一人者、山岸さんの講演



▲話題別話し合い(地域の教育力部会)

地域の教育力をキーワードにしたまちづくり

話題提供者の2団体(青少年育成百村地区委員会、いなぎFFネットワーク)からの活動事例発表に続き自由な意見がありました。

「地域社会はもう一つの学校だ。」と言われるように、地域社会での行事やイベントを通して、子どもたちが、心豊かになり、人との付き合いも上手になり、社会で生きていく力も養われる。そのためにも、私たち大人が、もう少し頑張って時間を作り、楽しい行事やイベントを子どもたちと一緒に積極的にやっていくようにしたい。

環境をキーワードにしたまちづくり

- ・農地や雑木林の保全に市民が関わるような仕組みを作っていくことで環境を維持していけるのではないかな。
- ・「まちづくりは人づくり」なので、市民がいろいろな形で交流できるような場所(機会)があればいい。これからは人と人をつなぎあわせていくネットワーク型の仕組みをサポートセンターが作っていくことが大事だし、稲城というまち全体でそういつながりを作っていくことが大事だ。

福祉をキーワードにしたまちづくり

病院で認知症と診断されても、介護保険を受けるときにギャップがある。また、認知症を家族が認めたくないことや、認めても人に言えないことなど、認知症を周囲に分かってもらうまで家族がとても大変だ。その時サポートする場所として見守り介護という制度があればいい。

こういった様々な問題に対して、ここの32団体が手をつなぎ合ってくるぐる輪を広げていけば、難しい事でも解決していけるのではないかな。サポートセンターがその窓口になれるのではないかな。

●山岸さんの講演のポイント

■NPOが目指すもの

市民活動を通して成熟した市民社会を作るのが到達点です。同時に、私たちが市民であると自覚して社会や地域を変える事で私たちの生き方や行動様式を変え、新しい生き方や地域を作っていくことを目指しています。

■NPOの社会的役割

NPOは、社会問題を解決して社会システムを変革し地域の

問題を解決していくと同時に、社会の仕組みそのものを変えていくというのが社会的な役割です。

■NPOの活動範囲

NPOは市民の自主的な活動なので、市民運動、市民活動、市民事業といわれる活動が全部入り非常に幅広い活動です。

■「あらゆるNPOは教育力を持つ」

社会の様々な問題を自主的に解決していくNPOは実践的な

教育の場です。このNPOの力で、新しい教育力を地域で作れ、地域力をアップさせることができます。

毎月第3水曜日の午後
は、市民活動に関する
相談日です。

どんなことでもお気軽にどうぞ・・・ただし、希望する方は、事前にお申し出ください。(電話でも可)

ガンバってます 5



▲第13回発表会（地域振興プラザにて）
「皆さん、一緒に声を出しましょう。」

会合は第四文化センター

「キヤ、キィ、キユ、キエ、キヨ」「いやあ、ビックリ、日本語にこんなにいろいろな音があるとは！
それが綺麗な声で高らかにみんなの口から流れる。これは語りの会「いろりばた」の練習風景の一コマである。」

民話のよさを 語り伝える

語りの会 「いろりばた」

代表：濱田比佐子さん

で第1・第3水曜日午前10時から。発声や表現の勉強をしている。伺った日は発声練習の日であった。練習の前に今後の予定が伝えられていたが、「いなぎ苑」は何日と何日、「正吉苑」は何日、「ハーモニ―松葉」は何日、何々小学校はいつと、その数たるやものすく月4〜5回はあるとか、これを会員が手分けしてこなしてゆく。

発表会は年1回。今年地域振興プラザで50〜60人を集め第13回目を果たしたという。出前の活動は川崎やら調布やら近隣一円にも及んでいる。今日もこれから「はるひ野」に行くぞうだ。

先日、多摩ニュータウンクラブが取材に来て、今ホームページで紹介されている。

「私たちの語りは、一方的に話し聞かせるだけではなく、『みなさん、一緒に声を出しましょう。』と聴衆に呼びかけ、北原白秋の「五十音の歌」などを共に語り、声を出すこと、語るこのよさ、素晴らしさをもに味わっていた。ここに特徴があります。」と濱田代表が語られていた。お話は各人が好きなものを自分で選んで語るぞうだ。

そもそも、この会は今から15年前の文化センター公開講座が発端で、その卒業生が自主グループで始めたのが今まで続いていっている。もつとも今ではその時の生徒は4名しか残っていない。今、会員は11名。毎回、和気あいあいと練習しあっている。常に新人募集中とか。昔話のよさを後世に伝え、身体にもいい語りの会に入りませんか。

▼問い合わせ
代表042-377-2616まで。
(文責：豊間根)

運営協議会

ほうこく

役員会・全体会

18年4月10日（月）と5月8日（月）に役員会及び運営協議会を開催し次の事項について協議した。

4月10日

【センター運営に関して】

- ① 利用登録申請団体の承認
・友遊クラブ

- ② 各分会・事務局・NPO
法人設立準備委員会の報告

【事業企画に関して】

- ① 金曜サロンスペシャル
6・7月について
- ② 市民活動フェスティバル
について
- ③ ハッピーリタイアメント
講座について

- ④ 手づくり市民まつりに
ついて
- ⑤ 各分会行事担当者につ
いて
- ⑥ ニュースレター7号発行
について

について

- ⑦ ホームページ専門部会の
スタッフ募集について

【その他】

- ① 17年度の運営協議会会計
報告

5月8日

【センター運営に関して】

- ① 利用登録申請団体の承認
・新日本婦人の会稲城支部
・サークル歩知歩知
以上2団体

- ② 各分会・事務局・NPO
法人設立準備委員会の報告

【事業企画に関して】

- ① サポートセンター年間事業
担当者について
- ② 市民活動相談事業について
- ③ 研修会について
- ④ 市民活動フェスティバルに
ついて
- ⑤ ハッピーリタイアメント講
座について
- ⑥ 金曜サロンスペシャル8月

●ホームページ専門部会の スタッフを募集

サポートセンターではオープン当初からホームページを立ち上げ、様々な情報を発信してきました。それをさらに楽しいものにするため、新たなスタッフに参加していただくことにしました。

ホームページづくりに詳しい方だけでなく、経験はなくても様々なアイデアをお持ちの方なら大歓迎です。

仲間としてぜひホームページづくりにご参加ください。

応募はメールでも結構ですので、お待ちしております。

編集後記

達人たちの刺激を受けて凹んだり凸つたりの繰り返しだが新鮮だ。向上心を持ち続けたい。(稲垣)

市民活動フェスティバルを担当しました。事前準備も当日も大変でしたが終わった感想は、「でもやっぱりやって良かった。こいつは機会が必要だ。」(川本)

一つ心を柱にし、同じ力を出し合って、それを巧みに組み合わせている“協”の字に、教えられる今日この頃。(豊間根)

大きな「グミの木」に今年も沢山の実が成りました。甘酸っぱくて懐かしい味です。樹齢300年の柿やケヤキの木。坂浜の散歩道は、楽しさいっぱい。(坂井)

市民の声を街づくりに！先日稲城の環境についての座談会に参加し、サポートセンターの役目を再認識した。(塩川)

自然の豊かさを感受し、美術・音楽・文学も触れていたい。最近欲張りになった私です。(秋廣)

レイアウトを担当しているが、毎回文字数がオーバー気味で悲鳴を上げている。でも、それだけ熱が入っている証拠だからうれしい悲鳴ではある。(小林)